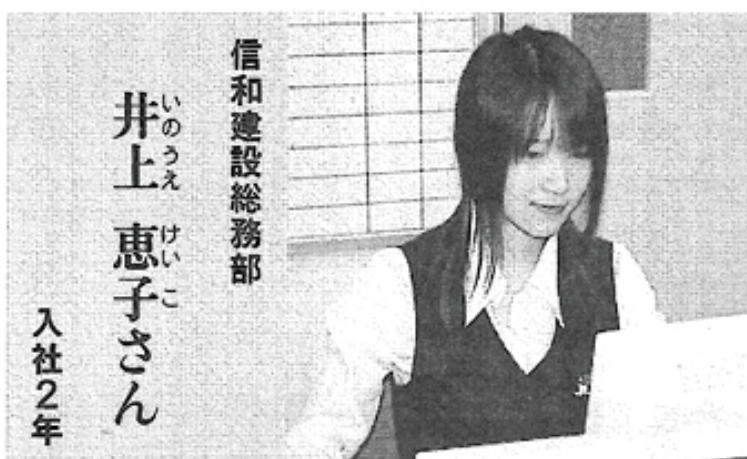


# 女性から見た建設業

その魅力と将来性を探る

男社会といわれる建設業界。公共事業の減少など、建設業界においては依然として試練の時代が続いている。しかし、このような逆境の時にこそ、業界が生まれ変わるチャンスととらえたい。女性の柔軟な発想と個性が新たな価値観を生み出す鍵となるかもしれない。

**質問項目** ①建設業への思い・魅力 ②建設業の将来性 ③現在手掛けている仕事 ④充実感を得た出来事



信和建設総務部

井上 恵子さん

入社2年

②不況、とはいいますが、格安物件や近未来的な建物、環境に優しい建築物など、建設業界はこれからもどんどん進化していくと思います。建物自体の品質向上、技術の向上はもちろんですが、これからも愛される建物造りがなされていけばいいなと思います

## 愛される建物造りを

①総務という仕事上、オーナーさまや入居者さまの喜ぶ顔を直接見ることはあまりありませんが、人に喜んでもらうために毎日必死で頑張っている社員の顔は毎日見えています。さまざまな人間のたくさんのかかわりが詰まった建物と、それを作り出す人たちにとっても魅力を感じます

③2月に本社を大阪市内に移転するため、急ピッチで引っ越し準備作業を行っています。また、新社屋の建物内では大阪研修センターという貸し会議室を提供する新事業を立ち上げるため、企画・運営準備も手掛けています

④採用活動で多くの応募者の中から内定を出し、入社してくれた社員が、会社で楽しそうに働いてくれていること